

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314

# かさおか



一年間を通しておちばを賑やかにしよう

1. 毎月一千人のおちばがえり
1. 五十万軒にをいがけとおさづけの取次

立教169年  
8月号

# 大盛況だった 詰所受け入れ行事



今年も子供おぢば帰りで親里は、子供達の歓声と鼓笛の響きで賑わった。今年は教祖百二十年祭の年とあって、「十万人の大増員」を打ち出し、年祭特別行事も含め熱い子供達の祭典は最終日まで続いた。

おぢばがえり実行委員、少年会はおぢばに帰って来た子供達に詰所でも喜んで貰いたいと今年も早くから準備して子供達を待った。今年から詰所玄関前に設置された大きな四枚の絵の看板は多くの子供達の目を楽しませ、また今年も期間中、朝のおつとめ、わかぎひのきしん、詰所内でのクイズ、模擬店、パターゴルフ、ビデオ上映などの行事に子供達の笑顔を見ることが出来た。さて、詰所内クイズに参加する人数が毎年増えて嬉しいばかりです。今年も三百人近い子供達から解答が集まりました。各クラスで一人も満点はいませんが、最高得点を取った解答者の名前と教会名、



及びその中から厳選なる抽選の結果、各クラス五人に、図書カードが渡されます(当選された方に「」を名前の前に記載しました)。尚、クイズと答えも記載致しますので、子供達に知らせて上げて下さい。

最後に今年も沢山の方々のアイデアと尽力のおかげで、行事を立ち上げ遂行し、子供達に喜んで貰える事が出来ました。この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(大教会こどもおぢばがえり実行委員会  
行事部主任 上原 志郎)

こどもおぢばがえり  
詰所内クイズ

〈最高得点者〉

【小学校低学年】

あいこうみく	(鶴山)
よしおかりの	(照陽)
よしおかりようま	(照陽)
よしおかゆうき	(照陽)
森下愛美	(葦陽)
森下沙香	(葦陽)
さとうはな	(福芦)
のぶおかありさ	(福芦)
矢田夏美	(八尋)
にしもりまさき	(真金)
しわくなつみ	(大恵山)
三島さちえ	(大恵山)
三島ゆうき	(大恵山)
田辺あや子	(大恵山)
うらいつき	(米府)
北野なつみ	(多古浦)
下田かずゆき	(行藤)
藤井賀奈子	(福山)
小川美沙紀	(福山)

【中学生】

橘高亜矢子	(福山)
川野布美子	(三郡)
こばやしちなみ	(稻瀬)
はらだりさ	(稻瀬)
小田原誉	(大恵山)
西佳鈴	(簸ノ川)
湯浅郁子	(簸ノ川)
塩野はるか	(多古浦)
片岡りょうや	(神村)
笹尾光恵	(葦陽)
青山あやか	(福芦)
平田優衣	(福芦)
馬屋原佳奈	(福芦)
奥村純基	(稻倉)
湯浅紀子	(簸ノ川)
前田悠	(神村)
はらだよしかず	(川島郷)

〈問題〉と〈答え〉

《順不同》

1. あまくて、とけちゃう山一つ、お皿ののって冷えている。これなあに?  
 〈答え〉アイスクリーム、またはかき氷
2. お風呂の大好きな子が、お風呂場で落として

3. しまう色なあに?  
 〈答え〉あか、垢
4. 出口も入り口もおなじドア、お客さんに乗せて上ったり、下がったりできるのに前に進めない乗り物なあに?  
 〈答え〉エレベーター
5. 貝がさかだちをして泳ぎました。なあに  
 〈答え〉いか
6. たぬきは、『たくわん』は好きでしょうか?  
 〈答え〉きらい、「た」をぬくと「くわん」
7. わたしは、わずかな風でもブルブルふるえます。それでも、どんな重いものも運びます。わたしは、なんでしょう?  
 (イギリスのなぞなぞ)  
 〈答え〉水
8. せっかく買ったのに割ってからつかうものなあに?  
 〈答え〉たまご、割り箸
9. フランス語ってなに語でしょう?  
 〈答え〉日本語
10. おやさまのおなまえはなんとおっしゃるでしょう?  
 〈答え〉中山みきさま

【小学校高学年】

1. 自分の名前から『ぎ』が消えたら『あらし』になる動物なあに?  
〈答え〉あざらし
2. 十数えてから食べる野菜は、なんででしょう  
〈答え〉とまと、 10待とう
3. 午後一番に食べたくなるもの、なあに?  
〈答え〉いちご
4. 石や木で作る『犬』はなにけんでしょう?  
〈答え〉うごけん、 動けん
5. 神社へお参りするとき、どんな人でもかむガムは?  
〈答え〉おがむ
6. たくさんあるのにちっとも見えない「き」ってなあに?  
〈答え〉空気
7. はたちのためきの嫌いなものはなんででしょう  
〈答え〉はち
8. 生きている人なら誰でも一度は見たのに、二度と見れないものなあに?  
〈答え〉昨日
9. みんなの足の下でくるくるまわっている大きなたまなあに?  
〈答え〉地球
10. おやがみさまのおなまえはなんででしょう  
〈答え〉天理王命さま



【中学生】

1. 『火』から生まれて「むり」をして空へとんでいくものなあに?  
〈答え〉けむり
2. 幽霊の髪の毛は、なんでできているでしょう  
か  
〈答え〉おぼけ
3. いつも『C』君の前にならんでいる生き物なあに?

4. 源義経の家来弁慶は、刀を千本集めることが目標でした。後一本で千本というとき、彼はどんな風に笑ったでしょうか  
〈答え〉ククク、999
5. 「くるみ」をさかさしてみました。なんになっただしょう?  
〈答え〉クルミはクルミ
6. 19世紀、ドイツの音楽家ベートーベンは7才の時になんと演奏会を開いたといわれます。彼は、いくつの時に天才と言われるようになりましたか  
〈答え〉10才、テンサイ
7. たぬきの『はた』を上げた医者があります。この医者は何科でしょうか  
〈答え〉歯科
8. まーるくて小さいもの。世の全ての人に好かれてるものなあに?  
〈答え〉硬貨
9. 毎年『2月』になると「ぎりぎり」とさけんでやってくる甘いやつなあに  
〈答え〉義理チョコ
10. 今年のごもおおぼがえりのテーマはなんでしょう  
〈答え〉ありがとう あふれるよろこび たすけあい

# 来年もまた

笠岡隊 前田 鈴花

私は、妹と妹の友達の家族といっしょに、おちばがえりに行きました。

おちばがえりには、1日目の夜に『おやさとパレード』があります。

『おやさとパレード』では、いろいろな所からきた、鼓笛隊の人が、カッコいい衣装を着て、『鼓笛隊』という名前のおり太鼓や笛で、演奏しながら行進していて、私はそれを見て、「笛をふきながら歩いてすごいなあ。」と、思いました。

ポンポンやバトン

を持っていて人を見ている時は、「バトンをなげたり、回したりするようになるのは、すごく大変そうだなあ。」と、思いました。

来年もまた来て、おやさとパレードを見たいです。



# 感謝！ 感激！

上下隊 山野 ちさと

私達上下隊は、7月30日から8月1日の3日間、おちばに帰らせて頂きました。お父さんは160人募集すると言っていたので、私は一生懸命友達を誘いました。出発前日までキャンセルが続いていたので、とても心配していましたが、私のクラスの半数以上の方が参加してくれました。出発の日、集合場所に集まったみんなの顔を見ながら、毎年参加してくれる人、初めて参加する人、みんな楽しんでくれるかなとワクワクドキドキでバスに乗り込みました。おちばに到着し、様々な行事に参加しみんな楽しそうにしていました。そんな中突然、私の友達の春ちゃん「足首が痛くて歩けない」と言い出しました。当然行事に参加する事も出来なくて車イスに乗り一人さみしそうに見学していました。時間がたつにつれとうとう足首が腫れてきたの



果、靱帯が伸びかけているが、骨には異常なし、上下には帰らなくても大丈夫との事だったので、みんな大喜びしました。その夜お母さんが、「少しでも痛みが和らぐよう、それから明日一日みんな楽しく過ごせるように神様をお願いさせてもらう」と言っておさづけをし、それに合わせてみんなで一緒にお願いをさせてもらいました。私はい

で、病院へ行くことになりました。お父さんが「場合によっては上下に連れて帰るかもしれない」と言っていたので、みんなすごく心配して、落ち着かない時間を過ごしました。何時間かたって病院から戻ってきた春ちゃん、診察の結果、果、靱帯が伸びかけているが、骨には異常なし、上下には帰らなくても大丈夫との事だったので、みんな大喜びしました。その夜お母さんが、「少しでも痛みが和らぐよう、それから明日一日みんな楽しく過ごせるように神様をお願いさせてもらう」と言っておさづけをし、それに合わせてみんなで一緒にお願いをさせてもらいました。私はい

つもおさづけをしてもらえばかりで、こんなに、真剣に友達の事を思ってお願いをしたのは、初めてでした。春ちゃんも、みんなにありがとうと言っていました。最後の日は、遊園地に行き、春ちゃんもみんなと一緒に楽しんでいました。これも神様が私達の願いを聞いてくださったんだなど、すごくうれしく思いました。上下に帰ってあらためて病院に行った春ちゃんは、松葉杖を使うことになりました。私はこんな事になって、おちば帰りをしたことを後悔しているかなと思って聞いてみたら、「足が痛くなったのは嫌だったけど、みんなが神様にお願いをしてくれて、最後の日は痛みもなくて、とても楽しかったよ」と言ってくれたので、めっちゃくちゃホッとしました。今回のおちば帰りでは、今まで気付かなかった事をたくさん気付かせて頂いた様に思います。親神様・教祖、そして大人の人達が、私達が楽しくおちばがえりをする為にいつも見守って下さっているんだなと思います。来年は中学生になるので、私も見守ってもらおう側から、みんなのお世話をする方の勉強をしていきたいと思っています。



## 大勢の友達をさそって

品治隊 渡辺雄大

今年は、おやさま120年さいの年です。ぼくの教会は、7月28日の夜から7月30日にお父さんの運でんでバスにのっておちばに帰りました。

楽しかったのはミュージカルや、パレードです。マーチングワールドが、初めて見れて良かったです。

ぼくは、大勢の友達をさそいました。でも、今年は、ソフトボールでゆう勝して急に人数がへった。でも1人でも多くさそおうと思ひ9人さそえまして。その中で3人が初めてでパレードは見せてあげたかったので、雨がふらなくてよかったです。みんな、

「楽しかったなあ」



「来年も来たいなあ」と、言ってくれました。

しんぼしら様からもらったおみやげのタオルを学校に持ってきてくれた人もいました。

おみやげを買いすぎてお金がなくなりそうになった人もいました。それだけほしい物がたくさんあった人もいたんだなあと思います。

来年は、バスが2台になるくらい友達をさそえたいなあと思います。



**天理高校  
幼少年指導班  
夏季伝道  
教会おとまり会  
KASAOKA  
ぜったい友達  
フェスティバル**

ヤホホ村ワールドへ  
ようこそ

教祖百二十年祭の年、例年の六万人増の大盛況に終わったこどもおぢばがえりに引き続き、今年は大教会でも是非天高生を交えたお泊まり会をさせて頂こうと、奥様より話があり受けさせて頂き、都合六カ所で開催されることになった。

送られてきたファックスに目を通すと、テーマが定めてあり、プログラムが進行するに連れ、子供達に八つの秘宝(八つのほこり)が解かれる内容に仕上がっていて、その出来にフムフムと感心させられた。針の穴の隙間もない程、綿密に折り込まれたスケジュールに意気込みを感じ取らせて頂いた。その熱意に圧されたかの如く、前日まで太平洋南方にあった三個の台風も、一つは中部関東に逸れ、残り二つは、お隣、韓国、中国へと逸れた。そのどれもに、相当の災害を与えた規模のものであったが…。お陰により、好天のお日和の下、どの会場も終始無難にお連れ通り頂く事が出来た。

受け入れと会場となった大教会では、天高生の到着と出向、はたまたお泊まり会開催時間が重なり、出入りでごった返す中、早々に顔合わせを済ませ始まったお泊まり会、天高生ののっけからの

**天理高校夏季伝道・プログラム**

8月9日	8月10日	8月11日
11:40 大教会着	12:00 大教会着・昼食	5:00 起床・洗面
13:00 各班毎に教会へ 各教会でおとまり会	14:30 参加者受付	5:30 朝づとめ
	15:00 フェスティバル開始	6:00 朝食・かたづけ
	17:00 終了	8:30 施設訪問出発
・顧問	17:30 夕食	9:00 会場準備
安治先生	19:00 夕づとめ	9:30 訪問行事開始
中畑先生	19:30 広場集合	10:45 終了
三宅先生	19:45 ドラマファイアー開始	11:30 大教会着
・男子 18名	20:45 終了	昼食
・女子 25名	21:30 順次入浴	13:00 参拝・大教会発
計 46名	打ち合わせ後就寝	

ハワイアンコスチュームに身をまとい、動物の耳を模したカチューシャスタイルの登場と相成って、子供達の冷めた視線を尻目に、暫しコミュニケーションション空洞化の雰囲気醸し出してはいたが、子供達を楽しませてあげたい一心のピュアな心は、そんな子供達の警戒心を解き放ち、またたく間にお兄さんお姉さんベッタリの様相と化して、ヤホホ村ワールドへと導き、演出もさることながら子供達の目線に立って対処する情熱は素晴らしいものがある。その対処する一つ一つに垣間見られる姿勢には他には見られないお道ならではの信仰が土台となって現れ出る姿を見させて頂いた。流石!

今回のお泊まり会は、近隣の直轄教会からの混成で、子供達にとってもお互い馴染みの薄い中、大教会に於いてはまだまだ小学校低学年、幼児が主体で進行が難しいかなと思って見ていたが、リーダーに心を寄せて良くまとまっております、それぞれが役割を發揮し、小さな子供に至るまで面倒見良く楽しませてくれた。また、最後まで裏方に回って後片付けに勤しんでくれたOGツモツモさん、ありがとうございます。

伝わる伝わらないかは別として、子供達にこれだけは届けたいものを自分なりに秘め、示唆しながらこどもおぢばがえりにしろお泊まり会にしろ携わって来て、果たしてどうなのかなと思って、

或る種の質問をしてみた。意外に子供達は覚えていて、嬉しく感じたと同時に、改めて御教えを伝えていく大切さと根気、そして、伝えていく者の日々の心の置き所、ひながたを問われている事に余りにも届かぬ自分を反省しきりで、申し訳ない思いでありながらも、その僅かな真実でさえお受け取り下さり、相手の心へと伝えて下さる。ピュアな心を汚さぬようつとめさせて頂きたいものと夙に願う。

二日目、テレビを通して一方では野球部が華々しい活躍を見せて楽しませてくれた。おぢばでは「学生生徒修養会ー高校の部ー」も開催真っ直中である。時を同じくし、大教会行事「絶対友達フェスティバル」に打ち込む天理高校幼年指導班の皆さん。誠に有難いことである。おさしづに「若い者…(略)…世界から見れば厄介。…」と良く耳にするお言葉である。

この時期、若者の育成というところで行事が開催されるが、下記に続くお言葉、「…世界からどういう大きい事に成るや知らん。…」と、本来は若者育成に携わる者の言わば楽しみ、育て方次第で若



者への未知数の可能性を説いて下さったお言葉であると思うが、同年代の同じ流す汗にも、自ら望んで小さな子供達の喜ぶ姿を見て共に喜ぶ汗を流す姿に、尊さと、徳分としてどういう大きい事に成るや…と、頼もしさで輝きに満ち溢れた姿を拝見させて頂きました。

伝え、伝わる。双方貴重な一瞬<sup>とき</sup>をお陰

で味合わせて頂くことが出来ま

した。残暑厳しい折、厭わず各開催地にあしげく通って

頂いた顧問の先生方、恩師安治先生、写真家中畑先生、ホープ三宅先生、

子供達が楽しみに待ってますので来年もよろしく

お願いします。また、こ

どもおぢばがえり期間中にも関わらず準備段取り打

合せから、八つの秘宝、こ

だわりのキャンドルファイヤー、夜遅くまで続いたミーティング、朝早く、宿

題、部屋掃除に食事の後片付け等々、おんぶにだっ

こ、精力的に頑張ってくれたピエール、ブラウン、プルート、きよびょん、じゅり、マイチユン、OG

ツモツモ…、煌星四十三名の天高生諸君、万歳!

(お泊まり会 大教会担当者)

# かけがえのないもの 見つけたんだ：

天校生 小倉 和幸

今年も子どもおちばがえりが終わり、その余韻が漂う中ではじまった天理高校求道部幼年指導班48代目夏季伝導。僕たち3年生にとっては、まさに今までの活動の集大成といえるだろう。舞台は、昨年と同じ笠岡大教会。

僕は、各教会ごとのお泊まり会の責任者、それから2日目の大教会での行事の司会というとても重要な役割を頂きました。

振り返ってみると、そこにあるものは、たくさん子どもたちの笑顔。その裏には、優しく見守って下さった教会スタッフの方々、初めは右も左も分らないような僕たちを、ここまで導いて下さった顧問の先生方。そして、頼りない責任者な僕でしたが、最後まで、1番近くで支えてくれて、不安や困難を一緒に乗り越えてきた班のメンバーたちの存在…、たった3日間でしたが、こんなにたくさんさんの支えにより、この



夏季伝導は成立しました。この中の何かひとつでも欠けていたら…そう考えると感謝せずにはいられません。

僕は、高屋分教会へ行かせて頂きました。準備の時点から班のメンバーには、たくさんさんの苦勞をかけてしまいました。お泊まり会の当日になると、プログラムにも甘い所が多く本当にスタッフのみなさん、そして班のメンバーたちには迷惑をかけたしまいました。それから、教会のみなさんには、本当にとっても充実した環境を用意して頂きました。そんな中で、たくさん子どもたちの笑顔に出逢うことができて：

ただただ幸せを感じました。こんな無力な僕でしたが、人に喜んでもらえたときのうれしさというものを、今まで以上に大きく大きく感じる事ができました。陽気ぐらしとはほど遠い現在の世の中でこんな風に人を喜ばせることの喜び、そして感謝の気持ちを感じられること自体がありがたいことなのですね。

…とにかく、こうしてあの3日間を振り返るだけで、心の中にあたたかい想いが次々とこみあげ

てきます。そういう訳でなかなかまとまりのない文章になっていますが…そう、この想いは言葉では表現できない。目で見ることなどもってのほかだ。でも、きつとこの想いは、心の奥で永遠に輝き続けるだろう。おそらく幼少年のみんなは、それぞれなにか熱い想いを胸に抱いているはず。少なくとも俺は、この夏季伝導でかけがえのないものを見つけた気がする。やっぱり言葉にはできない。いや、むしろ言葉など要らないものかもしれない。ただこの想いを少しでも多くの人に伝えたい。僕の世界の人にこのあたたかいものを感じてほしい。僕の力はあまりにも無力すぎるかもしれない。今はただ、このかけがえなき想いを信じよう。いつか世界が笑顔でうめつくされる日がくることを信じて…

”ありがとう“僕たちを支えてくれた人すべてにこの言葉を捧げたい…。

# 八つの秘宝を探し出せ in ヤホホ村

天校生 重利 未佳

ヤホホ村の宝である「八つの秘宝」がなくなってしまった。子どもたちに八つの秘宝を探してもらいその秘宝を解くことになりました。トリ、ウ

サギ、クマ、カバチームに分かれた子どもたちは、ゲームやおつとめ練習、ひのきしんをみんなで協力し、助け合い、一所懸命につとめてくれたので八つのうち六つの秘宝がみつかりました。特に子ども達がひのきしんをしているときの様子は、汗だくになりながらも楽しく勇んでくれました。

夕食をみんなで食べた後、夕づとめをし、大教会様のお話を真剣に聞かせていただいたので大教会長様からごほうびとして最後の秘宝の残り二つを見つけることができました。八つの秘宝とは、をしい、ほしい、にくい、かわい、うらみ、はらだち、よく、こうまんの「八つのほこり」だったので、八つのほこりがみつかったのでヤホホ村の住人たちは子どもたちをファンタジーナイトへ招待し、ゲームや歌、花火などをして、とても楽しい夜をすごしました。

二日目は朝づとめの時間がとても早かったのになかなか起きれない子もいましたが、朝づとめもお話もきちんと聞くことができました。お借りした部屋をそうじした後、みんなで夏休みの宿題をし、最後にみんなでプールへ行きました。子どもたちみんなが無事に楽しくお泊まり会をすることができて、本当によかったです。そして子どもたちの笑顔や素直な心を見ることができ、私たち幼少年指導班がお泊まり会に来てて楽しかったなど大人になっても思い出してもらえたらうれしいな

と思いました。そして、今回場所を提供して下さい、裏で支えてくださった笠岡大教会のスタッフの皆様には厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 海松ヶ岡分教会で お泊まり会をして

海松ヶ岡分教会にいったと思った途端：「あっ！物品を全部大教会に置いてきた！！」って6人で叫びました。そんな大事件から始まったお泊まり会でした。

私は裏方なのであんまり表に出ず、子供とも関わらずに終っちゃうのかなって思っていました。でも子供に歌を教えたり、人間パネシをして子供達に「八つのほこり」をわかってもらったり、子供の目を見てたくさんのことを伝えさせて頂きました。やっぱり最初はみんな照れたしなかなか合言葉もしてくれませんでした。でもゲームをしたり一緒に



紙相撲を作ったりしているうちに子供達の笑顔が見えてきました。その笑顔を見ると、頑張っ準備してきてよかったって思いました。花火は小さい子も好きだからどうかかなと思ってみるとみんな楽しそうに花火に熱中してました。自分はやけどしてしまっただけ子供達にけががなくて本当に良かったです。あつと言っ間に一日が過ぎてしまっってちょっと悲しかったです。すぐに子供達は寝てくれてこっちも安心して一日を終えました。

二日目はおもに外に出ることが多くて子供達もうれしそうでした。ひのきしんもめっちゃ楽しそうにして真剣にしてくれました。かんかん照りの炎天下の中であんなに頑張った子供達の姿には嬉しいとしか言いようがありませんでした。その後はおもいっきり遊びまわりました。部屋をいっぱい使ってみんなでおもいっきり体を動かしました。みんな汗だくになりながらもすっごく楽しそうでした。そして無事にお泊まり会を終えることができました。大教会に戻ってこれました。このお泊まり会は見えない所でたくさ

ん支えてもらいました。ご飯を作って下さった奥  
様やスタッフの皆さん、机やダンボールなどい  
んな物を貸して下さいたり、10人ぐらいいしか集ま  
らないんじゃないかと思っていたのにその3倍ぐ  
らいの子供達を集めて下さった会長様、差し入れ  
をして下さった教会の皆さんには本当に感謝して  
ます。ありがとうございます。

海松ヶ岡分教会でお泊まり会ができてよかったです。最終日にインターでお見送りして下さい  
ありません。

海松ヶ岡分教会お泊まり会メンバー  
小谷、藤井、深谷、天白、松本、樋口



### 「天理高校に行きたい」

天校生 羽田 結

私は芳井分教会へ行かせて頂いて、たくさんの事を学ばせて頂きました。

今回は、「キャンプをして欲しい」という事ではじめは、どうしようかと思いましたが、みんな一つ一つ考え、子どもたちに楽しんでもらえるようにとがんばりました。しかし、いざ本番になると川でキャンプなどした事なかった私たちは、川がどれ程危険なものかもよく理解しておらず、子どもたちを危ないめにあわせてしまったりもしました。佐藤さんご夫婦や中学生のスタッフの達にもたくさん助けて頂きました。予定していたプログラムがいろいろ変更となったり、ファイヤーはゲームの組み方が悪かったりと、大変なこともたくさんありましたが、こんな私たちに子ども達はいつも笑ってくれて、天理王命様に拝をした事がなかった子ども達も多かったけれど一緒に拝をしてくれて、生きる喜びを感じてくれたことがうれしいです。

中学生の子どもも仲良くなり、「天理高校に行きたい」と言ってもらえた事がとてもうれしかったです。良いにいがけがかけられたのなら幸いです。



ただ子ども達にゲームをしたり、共に遊んだりすることしか出来なかった私たちにとても優しくして下さい、申し訳ない程の待遇をして下さった佐藤ご夫婦、そして会長様ご夫婦、いつも私達をサポートしてくれた中学生の子たち、そして私たちのゲームを楽しかったと笑ってくれたみんな、本当にありがとうございます。私たちはこのキャンプで反省点多かったのですが、子ども達の笑顔にはげまされたりなどとも思いうに残る楽しいキャンプでした。本当に、どうもありがとうございました。

## お泊まり会 子どもの声

▼最初はあまりおもしろくなかったけどだんだん遊んでいたら楽しくなってきました。一番楽しかったのは夜にやっただんぐりころころでした！あてられるかあてられないかドキドキしたけどあてられませんでした！最後になったらちよっぴり残念だったけど！楽しかったです。またおとまり会に行きたいです!!それと茶色またこいよ!ピエールはきもかったからぜったい来るな。あとの人はみんな大好きです。八つのほこり、これを感じぶまもりまうす。またきてね、まってまうす

(成 田 和 子 小5)

▼天高生のお兄さんお姉さんが楽しいゲームやいろんなことをしてくれてとても楽しかった。八つの秘宝を探すときに宝さがしをしたりもらったりするのがおもしろかった。夜はキャンドルファイヤーがとてもきれいだった。見ながらゲームをしたり歌をうたったりとても楽しかった。キャンドルファイヤーおわって花火もとてもきれいだった。プールでは、流されるプールはういていたら、かってに流されるのでおもしろかった。ウォー

タースライダーでは、いきおいがあつてとてもおもしろかった。さいごに修了証をもらってうれしかった。

(藤 川 千賀子 小5)



▼プルトへ、ぼくといっばいあそんでくれたり、すごいものをいっばいみせてくれたりしてくれました。プルト大好きだよ。いつもアリガトウね!

ブラウンへ・ピエールへ、いろんなゲームをかんがえて、たのしくあそんでくれて、アリガトウ。2人ともぼくは大好きだから、わすれないよ!ほんとうにアリガトウね!森のようせいさんへ、ときどきあらわれてたのしいゲームをしてくれるようせいさん、はなびのとき、こわいぼくをなぐさめてくれてありがとうね!そしてあとのみんな、たのしくおもしろく、にぎやかにしてくれたみなさん、来年もぜったい来ます。それまでまってください!

(光 成 ひびき 小4)

▼最初はゲームをしていた時は、三人を見て『何こいつ』と思ったけど、遊んでいくと『おもしろい人』だと思ったよ。女の人を受け付けで始めて見た時、よくはずかしがらずに『カチューシャ』などをつけていたのですごいなあと思ったよ。また来てね!

(前 田 鈴 花 小5)

▼8/9/8/10まで、天理こうこうの人と、とまってたのしかったです。らいねんも来て、天理こうこうの人と新しい友だちをつくりたいです! 「がんばる」 (くにさだ まい 小4)

▼きのうときょうおにいさんやおねえさんがいっしょにあそんでくれてとてもたのしかったです。おにいさんおねえさんたちはいろいろなどうぶつ

にへんしんしてとてもおもしろかった。そのど  
うぶつになまえがついています。プルート、ブラ  
ウン、きよびょん、まゆちゅん、ツモツモ、じゅ  
り、みんなのしかつたっていつてたから、わた  
しもたのしかつた。おにいさんおねえさんはやさ  
しいから、みんなのしかつた。

(おかざき まみ 小1)

▼おにいさんおねえさんわたしたちをあそんでく  
れてありがとうございます。

(うえはら のぞみ 小1)

▼おにいさんおねえさんあそんでくれてありがと  
うたのしかつたよ。ありがとうほんとうにたのし  
かった。

(なかむら ふみよ 小1)

▼さいしょははずかしかったけど、すこしずつな  
れたのでたのしかつたよ。らいねんもあつたら  
いな。

(まえだ みずき 小1)

▼八つの秘宝を探したりして楽しかった。いろい  
ろなゲームをしたりして良かった。別にダンボー  
ルを二人でいっしょに前へおいて進んで行くのが  
楽しかった。1日目の夜にキャンドルファイヤー  
でろうそくをだんにしていたのがきれいだった。  
花火もうち上げ花火や、小さい花火をしたのが楽

しかつた。朝5時に起きてちよとねむたかつたで  
す。プールで流れるプールや、ウォータースライ  
ダーで、はなに水が入ってちょっといたかつたけ  
ど楽しかつたです。天理高生の人たちのげきも  
あつて楽しかつたです。お昼にカレーを食べてお  
いしかつたです。

(藤川 真梨子 小5)



▼8つの秘宝をみんなで協力してさがすのがおも

しろかつた。花火をやつたり、見たりするのが楽  
しかつた。また来年も行つてみたいです。プール  
ですべり台をすべつたり、ながれるプールでおよ  
いだりするのが楽しかつた。

(土居 夏佳 小5)

▼一日目のよるに、うちあげはな火とふつうのは  
な火がたのしかつたです。

(大原 ゆう太ろう 小3)

▼おにいさんおねえさんありがとう。もう一回き  
て下さい。楽しかつたよ。

(なかむら ゆきえ 小3)

▼あそんでくれてありがとうございます。とつ  
てもたのしかつたです。いろいろなもだちがで  
きてなまえおしえてくれたし、いろんなこともあ  
そんだしたのしかつたです。またこさしてもらい  
ませんかよろしくおねがいます。こころのおも  
い。

(ふじた あかり)

▼いっぱく二日のおとまりかいは、とてもたのし  
かつたです。二日目は、プールはとても楽しくて  
よかつたです。みんなとおわかればちよつときび  
しいけど、1日はんありがありがとうございました。

(吉岡 厚輝 小3)

『天理時報』7月2日号に、吸江分教会所属横島布教所長子弟・西村昌平さんの記事が掲載されておりましたので、転載させていただきます。

マスコミに見る 教友

子供を守るパトロール隊を



『山陽新聞』などが紹介  
岡山の西村昌平さん

岡山市の西村昌平さん（岡山大学教育学部4年・吸江分教会所属）は、同大学の学生有志らと共に地域の子供の安全を守る「岡山子ども守り隊 守るんジャー」を結成し、活動を開始した。西村さんが代表を務める同隊の結成に至る経緯が『山陽新聞』に掲載された。また、地元テレビ局各社も結成式の模様を

はじめ、同隊の取り組みを放送した（写真）。記事では冒頭、「全国で子どもを狙った犯罪が相次ぐ中、学生たちは『子どもが笑顔で通れる通学路にしたい』と張り切っている」と紹介。さらに、「同大の守り隊は毎日の下校時、通学路の巡回と交通整理に取り組む。通学路に危険がないかなどを調査し、警察からは交通整理の指導も受ける予定」と、具体的な活動内容を報じた。西村さんは幼稚園児のころから近所の教会の鼓笛隊に参加していた。「中学生になり、下級生の面倒を見るのが好きなことに気付いた。そのころから教師を目指すようになった」と振り返る。教育学部で学ぶ一方で、最近多発している児童が巻き込まれる事件に心を痛めていた。そんなとき、高知大学の学生が

地元地域をパトロールしていることを知り、その活動に共感を覚えた西村さんは「岡山でもパトロール隊を」と結成を決意。5月25日に結成式を行った。

現在の隊員は14人を数える。実動に先立って開いた講習会では、地元警察署員からパトロールする上での注意点や不審者の特徴などを学んだ。6月20日の1回目のパトロールでは、通学路の各ポイントに隊員を配置し、児童の下校を見守った。「初めての活動に戸惑うこともあったが、地域の人が『ありがとう』『ご苦労さま』と親しく声を掛けてくれた。今後、隊員みんなが助け合いい、地域の人たちに喜んでもらえるような活動を続けていきたい」と意気込みを語った。

（岡山・上原社友情報提供）

身上かりもの感謝  
おぢばがえり

今年、「おぢばを賑やかに」との呼びかけに応え、通常の団体行動には身体に支障部分があつてついて行かないけど何とかおぢばがえりをした、という人達の思いを実現しようと、婦人会笠岡支部として、六月三十日七月一日の二泊で企画しました。

当初はあまり反応もなく、ワゴン車一台で行くかな、と云ってましたが、日が近づくにつれてポツポツと参加希望者が名乗り出て来られ、丁度マイクロバス一杯の二十名になりました。

視覚・聴覚障害、膝の痛い人、高齢者、初めての人等、どこか一部が自由でも残りの機能を自由に使用していただける喜びに感謝して、お互い助け合い補い合つて楽しく帰らせて頂きたいと、皆さんにお話して、このおぢばがえりのテーマを冒頭のようにする旨了解してもらいました。

大教会を十時出発。天気予報は連日雨なので、付き添いも入れる大きな傘を、何本か積み込みました。今回の課

## 七月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます

親神様には一列子供の陽気ぐらしを楽しみに天然自然のお働きを通して育て下さいます事は誠に有難く勿体ない極みでございます。しかるに親への感謝の気持ちどころか親の存在さえも忘れる子供が弥増し目先の欲にとられて自分達の都合のいいようにと天地を荒らして親の尊厳を傷つけてしまっている事は誠に残念でなりません。もうすぐ梅雨も明けようかという時節でございますが今年は異常で梅雨というより熱帯地域の雨期を思わせる強雨で被害が続出しています。「水つきも月日のざねんりいふく」とお聞かせ頂きますがこれは親心で「大難は小難に、小難は無難に」とお働き下さってもこれ程大きなものになる位自分達自身が招いている事への残念立腹であると悟らせて頂きます

私共は「世界一列救いたい」との思いにお応えさせて頂きたいものと日々は喜びと感謝の心を基に御恩報じの思いを深めて朝夕に御礼申し上げると共に一人でも多くの人々に親の大切さと御恩報じの大切さを伝えるべくにをいかけおたすけにと勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はこれの笠岡の理にお許し下さいました七月の月次祭を執り行う日柄でございますので只今からおつとめ奉仕者一同喜び心も一入に明るく陽気に勇んで座りづとめてをどりをつとめさせて頂きます御前には足下の悪い中をも厭わず寄り集いました道の子供達が相共にお歌を唱和し改めて御礼申し上げつつ親心に凭れる状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さていよいよ教祖百二十年祭子供おぢば帰りが目前となりました。今まで十分に声掛けをしてまいりましたが一人でも帰参者の増員が出来るよう残された日々尚一層募集に邁進させて頂く所存でございますので何卒おぢば帰りの際には事故怪我等の無いようお連れ通りの程をお願い申し上げます。又夏休みの期間に子供おぢば帰りや学生生徒修養会としてお泊まり会等を通じて子供達との会話の時間を増やし道の後継者育成にも力を注いで行く所存でございます

何卒親神様にはお与え頂く節目にふさわしい成人を目指し力の限りに歩む皆の誠真実の心をお受取り下さいまして万たすけの上は元より道の後継者育成の上にも更なる自由の御守護を賜わりまして親子共々に親孝心に芽生え陽気ぐらし実現に向かって歩み出せるようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

題はこの雨の中での行動でしたが、御守護にお任せして、成ってきた事を喜べる心で通ることを誓って出ました。結果的には一度も傘を開くことなく行動でき、本当にこれが私には一番のごほうびでした。ゆっくりと三殿を説明し参拝した後、参加者の希望でお墓地参拝後、買物も済ませ詰所着。

翌日は基礎講座を揃って受け、さらに地下二階の「親神の守護シター」を見学して、昼食後、帰途につきました。詰所では朝の遥拝式に、修養科の人と共に参拝し、少人数でがんばっている修養科生を皆さんに紹介してもらいました。高齢でも心一つでできることもあると皆さんに知ってほしかったからです。

今回の企画では参拝だけでもできれば可と思っていましたが、思いがけずいろいろなことを体験してもらえて、実りのあるものでした。参加者ほぼ全員が喜びの声を届けて下さり、教祖も喜び下さったことと思えます。

(婦人会常任委員 上原 順子)



▼養徳社発行『陽気』誌四月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「地」、選六十三句中、笠岡に繋がる教友の方一名、一句が見事選ばれ掲載されていきましたので転載させて頂きます。おめでとうございます。

准秀詠 東悠分教会長夫人 田林 美智子  
み教えを大地に学ぶ道の台

### 大教会だより

#### ◎教祖百二十年祭登殿参拝(七月)

上	笠	芦	芦	芦	芦	恵	陽	陽	稲	稲	行
下	尋	品	常	常	常	陽	實	實	瀨	富士	藤
山	三	吉	原	松	藤	藤	佐	三	山	山	下
野	嶋	岡	岡	岡	本	本	藤	宅	成	成	田
弘	利	孝	公	睦	基	基	理	善	友	友	孝
実	夫	彦	彦	代	喜	喜	生	久	司	司	徳

#### ◎本部食堂ひのきしん

眞	吉	清	上	木	國	上	上	葦	葦	葦	自	至	金
府	舎	嶽	小	津	須	吉	吉	備	備	沼	立	立	浦
高	時	田	田	丸	橘	桑	桑	田	田	三	教	教	西
田	宗	中	中	山	高	本	本	島	島	島	年	年	江
弘	一	幹	一	一	祐	光	光	順	順	順	7	7	昌
之	実	夫	矩	勤	高	則	則	教	教	教	月	月	直
											16	16	
											日	日	
											31	31	
											日	日	



今年の四月より親元離れ、寮生活しながら勉学に励んだ娘が夏休暇に帰って来た。当初生活に慣れるのが大変だったと聞いていただけにその日が来るのを指折首を長くして待っていたが、元気で明るくなって一回り大きくなったなあと喜こんだ。

帰省とは、故郷にかえり親の安否を問うことと辞書にあるが親としては子供が元気でやってくれている姿を見て大いに安心する。

近所の家では盆や正月には、いつも神戸と京都ナンバーの車が停っていて、元気で又帰って来られているなあと他人事ながら何か笑ましく感じる。人は何故時間と金を費して混雑の中を親元へ帰って来るのだ



ろう。  
そこには自分を苦勞して育ててくれた親が居る。親と子は切っても切れない絆で結ばれているからだと思う。

ところが最近、マスコミでは耳を疑う様な事件を伝えている。親が我子を橋から落して殺害、子が父親の厳しさへの仕返しに家に火を付けて母親や兄弟までも焼死させる等…。

何がその様に狂わせたのだろうか。他を思いやる心の欠如は、自らの痛みや苦勞、貧しさ等を避け、子の為、親の為、他につくす、人をたすける心の欠如からだと思う。

何もかもすべてご存知であり、子供の成人を待ち望まれるを、やは、今日も親里ぢばで子供の帰って来るのを今か今かと首を長くして待ち給う。はようかえっておいで…。  
一年間を通しておちばを賑やかにしよう！